

## 読むための資料

- 大活字本
- LLブック：LättLäst (easy to read) スウェーデン語で「だれでもやさしく読める本」です。難しい漢字、長文はなく、ふりがなや絵文字、わかりやすい写真等もあります
- 点字図書・点訳絵本
- 手話付き DVD
- 布の絵本・さわる絵本
- 多言語電子絵本・図書
- DAISY 図書：Digital Accessible Information System 「アクセシブルな情報システム」の略称。
  - ・音声 DAISY (録音図書)：図写真の説明、目次やページ情報もあり、音声の速さの変更も可能です
  - ・マルチメディア DAISY 図書：文字や画像をハイライトしながら、その部分の音声と一っしょに読むことができます。文字の大きさや背景の色も変えることが可能です



### りんごの棚

スウェーデンの図書館でスタートした、特別なニーズのある子どもたち用にさまざまな情報や資料が集められ、使いやすいように工夫された棚のこと。

日本でも「りんごの棚」を設置する学校図書館が増えてきています。さまざまな形式の資料を1か所に集めることで、特別支援を必要とする児童生徒が利用しやすく、楽しむための手助けとなっています。



## 6 AIと生きる時代、すべての土台が言語能力・読解力

AIの急速な発展の中で、人間の強みを発揮するための基盤が言語能力・読解力です。年齢に応じて語彙を増やし、想像力、論理的思考力、表現力等を伸ばしていくことが重要です。情報を活用するにも言語能力が基盤となります。今、言語能力の育成は学校教育における最大の課題です。全教科・全教育活動を通じて、言語能力育成に取り組む必要があります。そのために、学校図書館を核にしなが、全職員で言語能力を育成していきます。

### 「紙の本」か「電子書籍」か… 考慮しましょう 発達段階と健康面！

世界中の脳科学者・発達認知研究者が、深い思考は紙だからこそ獲得できる。紙には操作性があり、視覚、触覚、聴覚等の刺激が記憶にも影響力をあたえ、集中力も勝ると発言している。

世界では、端末重視で学力低下傾向があるとして、紙や手書きへの回帰が見られはじめています。

子どもたちが、将来、紙とデジタルと使い分けができるように、学齢が低いうちは紙の経験を十分にさせましょう。そして、読む力も、思考力もつけられるようにしていくことが大切です。

デジタルの使い過ぎで目や身体、心に影響がでるVDT (Visual Display Terminal) 症候群などを発症する、健康によくないという調査結果もあります。

情報を得る、情報をまとめる、動画の活用などの道具としては端末を活用し、集中力、深い思考力、想像力を養うために、読書は紙で行っていくことで、端末に向かう時間の軽減も図れます。